

# 和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2014年第32号(週報・月報合併号)

2014年第32週(8月4日~8月10日)、月報7月

## ◆◆ 注目すべき感染症の動向 ◆◆

### — ヘルパンギーナ : 和歌山市、岩出、湯浅保健所管内は引き続き警報レベル!! —

ヘルパンギーナは、発熱と口腔内に水疱性発疹ができるウイルス感染症で、いわゆる夏かぜの代表的な疾患です。

和歌山県全体の定点当たり患者報告数は、2.87人(前週:3.32人)と3週連続で減少しました。流行のピークは過ぎましたが、もうしばらく注意が必要です。

保健所別では岩出保健所管内からの報告が最も多く7.00人(前週:7.25人)、和歌山市保健所管内は2.78人(前週:2.00人)と少し増加、湯浅保健所管内は2.00人(前週:4.33人)と大きく減少しました。

和歌山市保健所管内は5週連続、岩出保健所管内は4週連続、湯浅保健所管内は9週連続警報レベルです。

また、御坊保健所管内で3.50人(前週:4.00人)、新宮保健所管内で4.50人(前週:3.50人)と患者報告数が多くなっていますので注意して下さい。

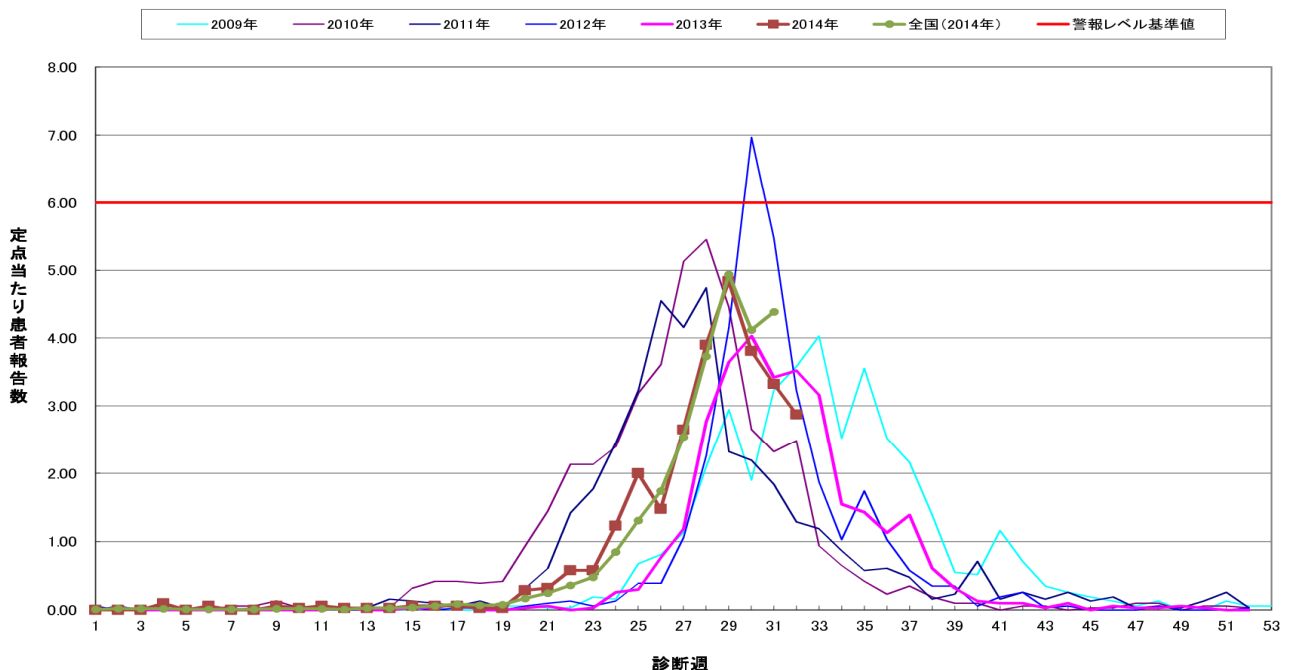
全国的には流行以来初めて減少した前週(第30週:4.12人)から、少し増加しました。(第31週:4.39人)。

この疾患の感染経路は、糞口感染、飛沫感染また接触感染であるため、感染者との密接な接触を避けることやうがい・手洗いの励行が感染予防対策となります。

ヘルパンギーナの詳しい説明はこちら:(国立感染症研究所HP)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/515-herpangina.html>

ヘルパンギーナ(和歌山県全体)



## 一 咽頭結膜熱 : 患者報告数急増! 一

咽頭結膜熱とはアデノウイルスの感染により、発熱(38~39度)、のどの痛み、結膜炎といった症状を来す、小児に多い病気です。プールでの接触やタオルの共用により感染することもあるので、プール熱と呼ばれることもあります。

県全体の定点当たり患者報告数は、0.84人(前週:0.32人)と大きく増加しました。

保健所別では、和歌山市保健所管内で2.11人(前週:0.89人)と急増し、岩出保健所管内で1.25人(前週:0.25人)と大きく増加しています。

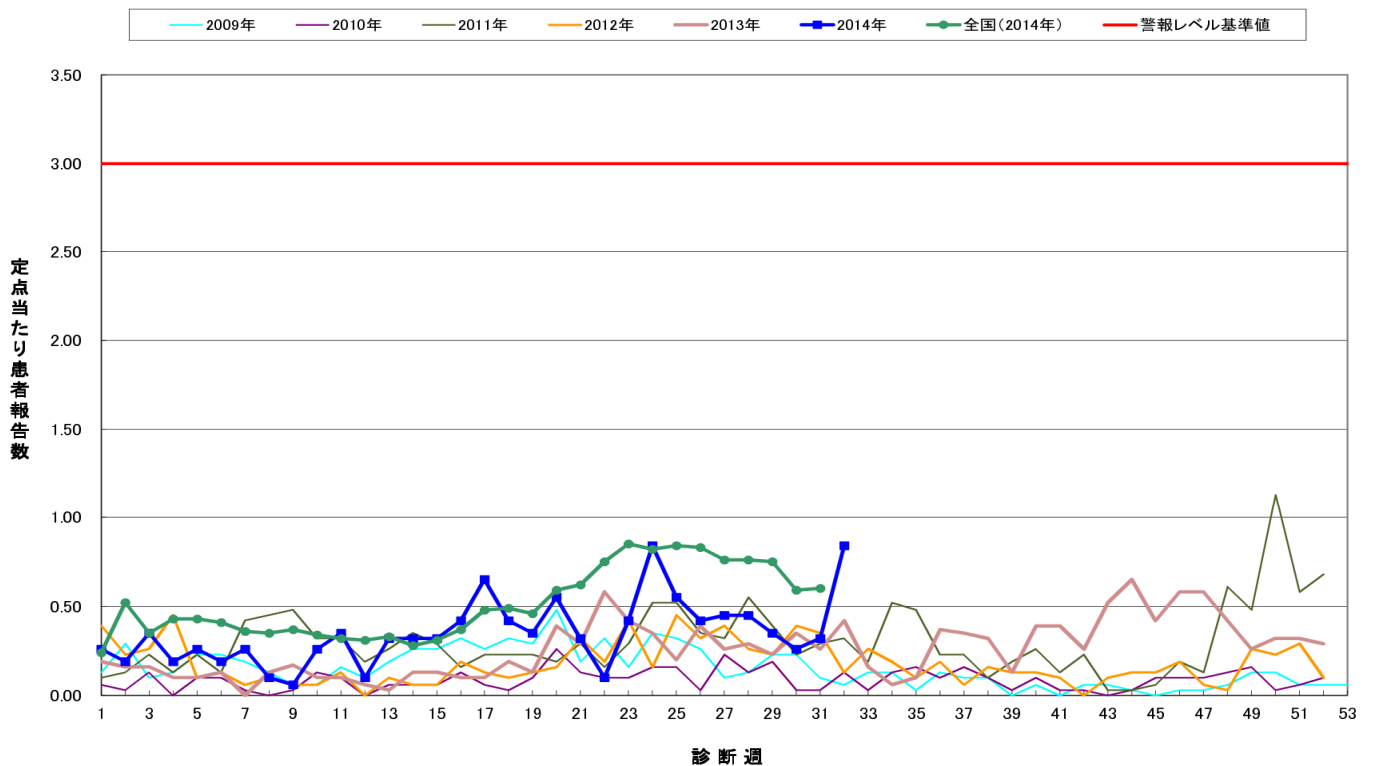
全国的には定点当たり患者報告数はほぼ横ばいとなっていますが(第31週:0.60人)、過去5年間の同時期と比較してやや多い状況です。

感染経路は主に飛沫感染、接触感染ですが、感染予防のために流水と石けんで十分に手洗いを行い、タオルの共用は避けてください。また、プールの前後はシャワーをよく浴びるようにしましょう。

咽頭結膜熱の詳しい説明はこちら:(厚生労働省HP)

(<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou17/01.html>)

咽頭結膜熱(和歌山県全体)



## 風しんワクチン接種に対する助成制度について

和歌山県では、県内の19歳以上50歳未満の妊娠を希望する女性と妊婦の夫を対象とした風しんワクチン接種費用の助成をおこなっています。

詳しくは、現在お住まいの各市町村の保健福祉関係課へお問い合わせください。

**助成期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日**

### ○ 定点把握感染症の警報・注意報レベル基準値について

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	7	4	4
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
百日咳	1	0.1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

基準値はすべて定点当たりの報告数です。注意報の「-」は対象としないことを意味します。

## ◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

### <届出状況>

- 1) 当該週に診断された感染症のみ掲載しています。
  - 1類感染症：報告はありませんでした。
  - 2類感染症：結核 2名
  - 3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 2名
  - 4類感染症：重症熱性血小板減少症候群 1名、日本紅斑熱 2名
  - 5類感染症：報告はありませんでした。
  
- 2) 第1週から当該週までに診断された患者報告数を掲載しています。

疾病名	報告数
結核	138
腸管出血性大腸菌感染症	6
E型肝炎	1
A型肝炎	5
重症熱性血小板減少症候群	2
つつが虫病	2
日本紅斑熱	12
レジオネラ症	3
アメーバ赤痢	1
ウイルス性肝炎	1
急性脳炎	1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2
後天性免疫不全症候群	2
侵襲性インフルエンザ菌感染症	4
侵襲性肺炎球菌感染症	4
梅毒	4
破傷風	1
風しん	1
麻疹	26

## ◆◆ 5類定点把握感染症(週報)について ◆◆

### <各保健所の警報注意報レベル状況>

#### 警報レベル

- 百日咳（田辺保健所）
- ヘルパンギーナ（和歌山市、岩出、湯浅保健所管内）

#### 注意報レベル

ありません。

<年齢階級層別の患者報告数（和歌山県）>

（インフルエンザ）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

（小児科定点対象感染症）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～
RSウイルス感染症	報告	14	1	1	5	5	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	定当	0.45	0.03	0.03	0.16	0.16	0.03	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	26	-	-	1	3	4	5	8	4	-	1	-	-	-	-
	定当	0.84	-	-	0.03	0.1	0.13	0.16	0.26	0.13	-	0.03	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	10	-	-	-	-	1	5	-	1	3	-	-	-	-	-
	定当	0.32	-	-	-	-	0.03	0.16	-	0.03	0.1	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	報告	60	-	6	17	3	11	7	5	-	1	2	-	5	2	1
	定当	1.94	-	0.19	0.55	0.1	0.35	0.23	0.16	-	0.03	0.06	-	0.16	0.06	0.03
水痘	報告	9	-	1	1	1	1	2	2	-	1	-	-	-	-	-
	定当	0.29	-	0.03	0.03	0.03	0.03	0.06	0.06	-	0.03	-	-	-	-	-
手足口病	報告	7	-	-	2	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.23	-	-	0.06	0.1	-	0.06	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	報告	26	-	10	13	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.84	-	0.32	0.42	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	報告	4	-	-	-	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.13	-	-	-	0.03	0.03	0.03	0.03	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	89	2	8	20	17	15	7	10	5	1	2	-	2	-	-
	定当	2.87	0.06	0.26	0.65	0.55	0.48	0.23	0.32	0.16	0.03	0.06	-	0.06	-	-
流行性耳下腺炎	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	定当	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.03	-	-



<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-:患者報告がない、…:保健所管内に定点が存在しない)

		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
インフルエンザ	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	報告	3	-	9	-	-	2	-	-	-
	定当	0.33	-	2.25	-	-	1	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	19	-	5	-	1	-	1	-	-
	定当	2.11	-	1.25	-	0.33	-	0.25	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	-	-	1	3	1	-	5	-	-
	定当	-	-	0.25	0.75	0.33	-	1.25	-	-
感染性胃腸炎	報告	31	8	12	5	-	-	4	-	-
	定当	3.44	4	3	1.25	-	-	1	-	-
水痘	報告	3	1	3	-	-	-	2	-	-
	定当	0.33	0.5	0.75	-	-	-	0.5	-	-
手足口病	報告	-	-	1	3	3	-	-	-	-
	定当	-	-	0.25	0.75	1	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	報告	7	-	8	4	3	1	3	-	-
	定当	0.78	-	2	1	1	0.5	0.75	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	4	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	1	-	-
ヘルパンギーナ	報告	25	1	28	6	6	7	7	9	-
	定当	2.78	0.5	7	1.5	2	3.5	1.75	4.5	-
流行性耳下腺炎	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.11	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
流行性角結膜炎	報告	5	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	1.67	…	…	…	…	…	-	…	…
細菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
無菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	報告	2	…	1	-	-	-	-	-	…
	定当	0.67	…	1	-	-	-	-	-	…
クラミジア肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…













### <院内感染症の動向>

7月の定点当たり患者報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症が2.73人(先月：1.82人)となっています。メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症で患者報告数が最も多い年齢階級層は、70歳以上で全体の70%となっています。

### 【7月の年齢階級層別の患者報告数(和歌山県)】

		総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告	30	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	4	2	21
	定当	2.73	0.09	-	-	-	-	-	0.09	-	0.09	-	-	-	-	0.36	0.18	1.91
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.09	-	-	-	-	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	定当	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09
薬剤耐性アシネトバクター感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

### 和歌山県感染症情報 (WIDR) 2014 年第 32 号

発行日：平成 26 年 8 月 14 日

発行元：和歌山県感染症情報センター

(和歌山県環境衛生研究センター内)

和歌山市砂山南 3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail [e0318011@pref.wakayama.lg.jp](mailto:e0318011@pref.wakayama.lg.jp)

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

(お問い合わせ先)

和歌山県福祉保健部健康局健康推進課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2657

E-mail [e0412003@pref.wakayama.lg.jp](mailto:e0412003@pref.wakayama.lg.jp)

この WIDR は感染症新法に基づいて実施されている感染症発生動向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意ください。